

令和6年度水稲作柄判定試験結果（第1回）

令和6年7月11日

大分県農林水産研究指導センター

農業研究部 水田農業グループ

1. 水田農業グループ（宇佐市、平坦地）における生育概況

移植直後の寡照によって分けつ開始が遅れた。生育は平年より遅れており、茎数は少なかった。

「つや姫」の草丈は平年より高く、茎数は少なかった。葉齢は平年より遅れており、葉色はやや淡かった。

「なつほのか」の草丈は平年より高く、茎数は少なかった。葉齢は平年より遅れており、葉色は淡かった。

「ヒノヒカリ」の草丈は平年より高く、茎数は少なかった。葉齢は平年より遅れており、葉色はやや淡かった。

7月5日時点の生育

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (/m ²)	葉齢	葉色 (SPAD 値)
つや姫	本年	40.4	133	6.3	38.3
	前年差・比	100	76	-0.2	-0.3
	平年差・比	113	69	-0.6	-1.4
なつほのか	本年	44.7	109	6.2	35.3
	前年差・比	103	81	-0.2	-0.1
	平年差・比	116	55	-0.6	-2.4
ヒノヒカリ	本年	33.4	141	6.4	38.9
	前年差・比	100	77	-0.4	+0.2
	平年差・比	111	67	-0.6	-1.8

差・比の値は、符号がついているものは差、ついていないものは比を示す。

2. 気象概況／6月5半旬～7月1半旬

観測値：水田農業グループ（宇佐市）、標高 30 m

- 1) 気温 【期間中の本年値：25.6℃ 平年値：24.3℃ 平年差：+1.3℃】
平均気温および最低気温は、期間を通じておおむね平年並または平年より高かった。
- 2) 降水量 【期間中の本年値：195 mm 平年値：190 mm 平年比 103】
6月6半旬には平年より多かったことを除いて、おおむね平年並であった。
- 3) 日照時間 【期間中の本年値：32 h 平年値：64 h 平年比 50】
6月5半旬から6半旬にかけて平年よりかなり短かったが、以降は平年並であった。

3. 栽培上の留意点

1) 水管理

目標茎数に達するまでは、浅水管理により分けつを促進する。降雨によって深水にならないように、適正な水深を保つ。また、麦稈をすき込んだ圃場や堆肥などの有機物を施用した圃場では、根痛みを防ぐために間断灌水し、根に酸素を供給する。茎数が 320~330 本/m² に達したら、中干しを開始する。

2) 病虫害防除

6 月以降、高標高地域を中心に葉いもち発生の好適条件となった。常発地域においては発生状況を注視するとともに、葉色が濃い場合は穂肥減量や薬剤散布などの対策を講じる。

6 月 20 日にトビイロウンカについて注意報が発表された。苗箱施薬の残効がなくなれば増殖が懸念されるため、発生状況を注視するとともに、防除適期を逃さないように計画的な薬剤散布を実施する。

その他病虫害については、大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 病虫害対策チーム (<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>) が公表している発生予察情報を参考とする。

4. 試験方法

1) 供試品種

「つや姫」、「なつほのか」、「ヒノヒカリ」

2) 移植日

6 月 20 日

3) 栽植密度

15.2 株/m² (条間 30 cm、株間 22 cm、1 株 4 本手植え)

4) 窒素施用量

「つや姫」基肥 - 追肥 = 4 - 2 kg/10a、

「ヒノヒカリ」「なつほのか」基肥 - 追肥 = 4 - 3 kg/10a

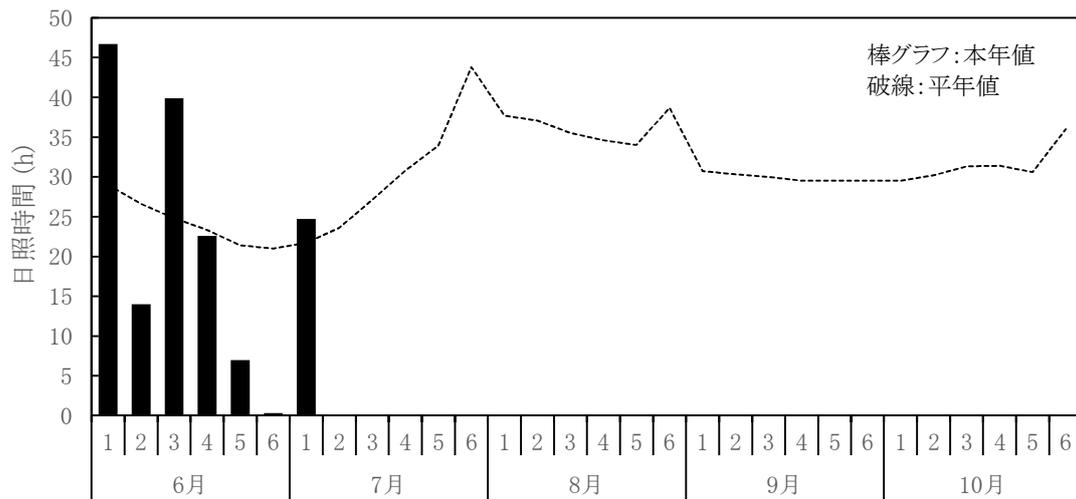
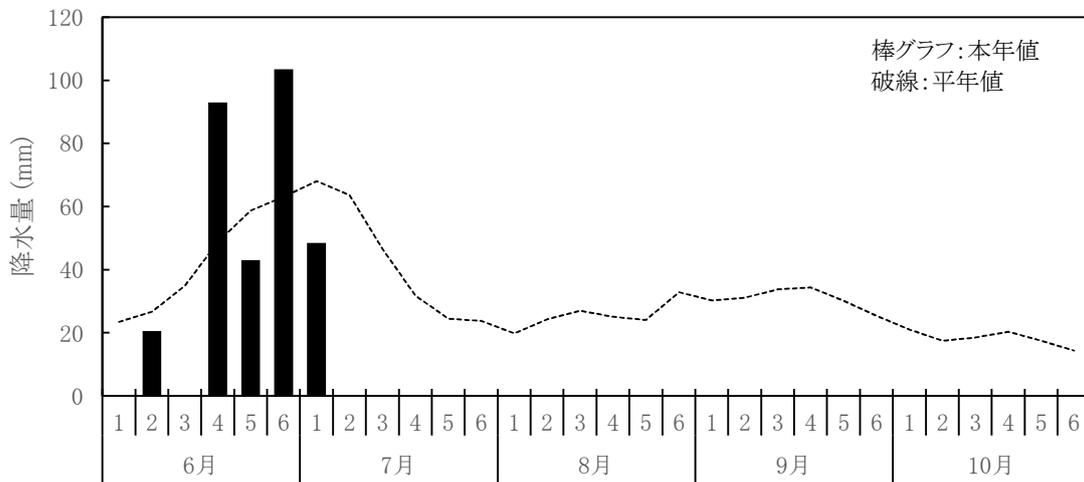
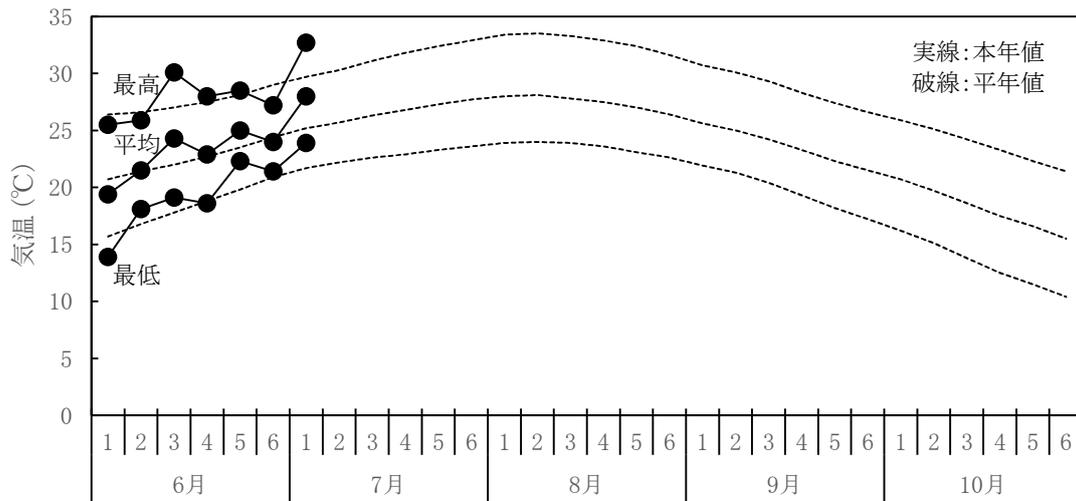
5) 平年値

「つや姫」「ヒノヒカリ」過去 4 カ年の平均値

「なつほのか」過去 3 カ年の平均値

6) 調査基準日

7 月 5 日、7 月 15 日、7 月 25 日、8 月 5 日、8 月 20 日、成熟期



令和 6 年度夏作期間気象図 (宇佐市、標高 30 m)

*平年値は 1994~2023 年の 30 カ年の平均値を示す。